

問合せ先
第八管区海上保安本部海洋情報部
海洋調査課長 熊川 浩一
TEL 0773-75-7373(直通)
TEL 0773-76-4100 (内線2530)



第八管区海上保安本部
平成21年7月14日

海水浴中は「離岸流」に注意！ ～ 鳥取砂丘付近の「離岸流」について～

毎年、海水浴中に「離岸流」によると思われる海浜事故が発生し、尊い人命が奪われています。第八管区海上保安本部では、海水浴シーズンを前に海浜事故が毎年発生している鳥取砂丘付近の海岸で「離岸流」について調査しましたので、結果についてお知らせ致します。

1 調査の概要 (付図1参照)

- (1) 調査海域 鳥取県鳥取市鳥取砂丘海水浴場
- (2) 調査日 5月20日(水)、21日(木)、6月24日(水)、25日(木)
- (3) 調査方法
 - ① 流速計を5月20日から6月14日までの26日間、水深約4m付近に設置し流れの方向と速さを連続測定しました。
 - ② シーマーカーを投入し海水の動きを目視で確認しました。
 - ③ 漂流ブイにより離岸流の場所・方向・速さを測定しました。
 - ④ ダミー人形を流し漂流状況を調査しました。

2 調査の結果 (付図2、3参照)

- (1) 北寄りの風するとき離岸流が見られました。北寄りの風が強いほど流れは速くなっていました。なお、6月14日には最大約1.0m/sの流速を観測しました。
- (2) 離岸流は海面付近から流速計を設置した海底まで、ほぼ同じ速さで流れていました。
- (3) 北寄りの強い風するとき岸に沿って弱い流れが発生していました(並岸流)。
- (4) 波が高目の時、離岸流が発生する傾向が見られました。

※ 今回の調査は、昨年離岸流による事故が多発した鳥取砂丘海水浴場で実施しましたが離岸流は全国の海岸線で発生しています。
離岸流に流された時は、岸に向かって泳がず「岸に平行に泳ぐ」と離岸流からぬけられます。

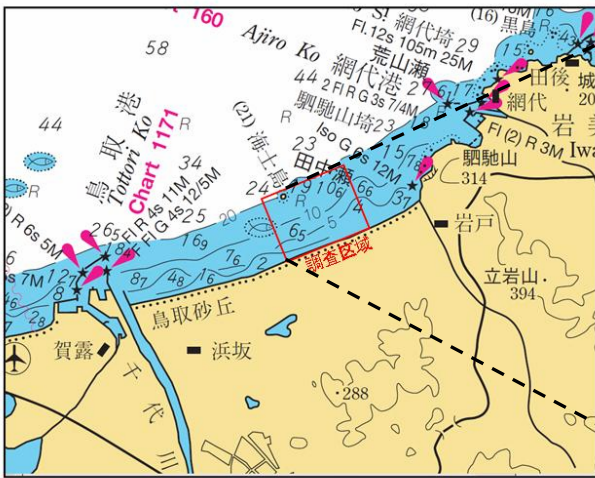
3 お知らせ

- (1) 「離岸流」についての詳しい資料は、第八管区海上保安本部海洋情報部HPの『マリンレジャーを楽しむ』をご覧ください。
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/ripcurrent/ripcurrent.html>
- (2) 海へお出かけ前に、第八管区海上保安本部HP「マリンレジャーを安全に楽しむために」をご覧ください。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/marineleisure/swim-top.html>

※各HPでは「離岸流」を詳しく解説した啓発用動画を見ることができます。

離岸流調査海域

調査海域



流速計設置位置



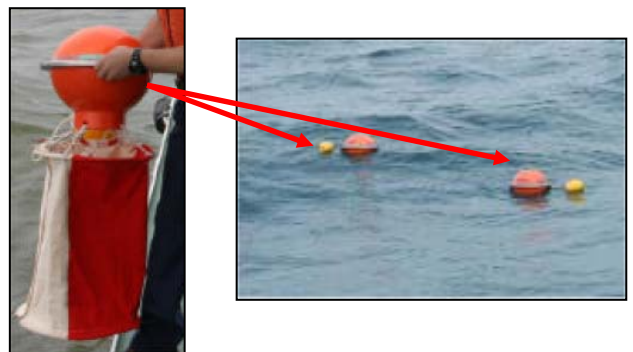
調査の方法

- ① 流速計を海底設置し潮流を測定 (方向・速さ)



流速計：海底から海面に向け音波を発信し、各深度の流れの方向と速さを測定します。

- ③ 漂流ブイによる離岸流調査 (場所、方向、速さ)



漂流ブイ：ブイに内蔵した衛星通信機で自位置を自動送信し、漂流経路を追跡します。

- ② シーマーカーを投入し、離岸流を目視します



シーマーカー：一時的に海水を着色する染料です。海水の動きを目視で確認します。

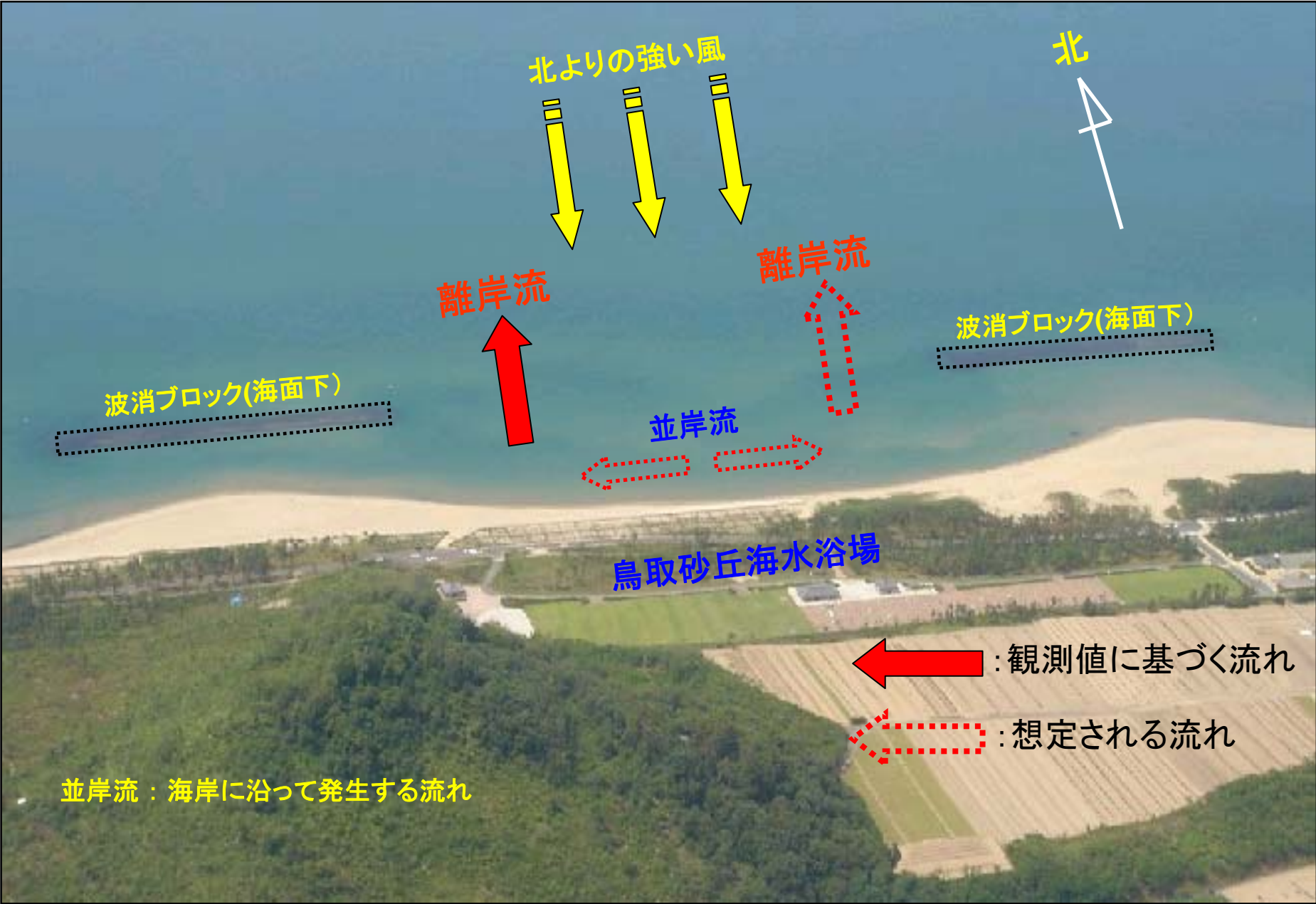
- ④ ダミー人形による漂流状況の調査



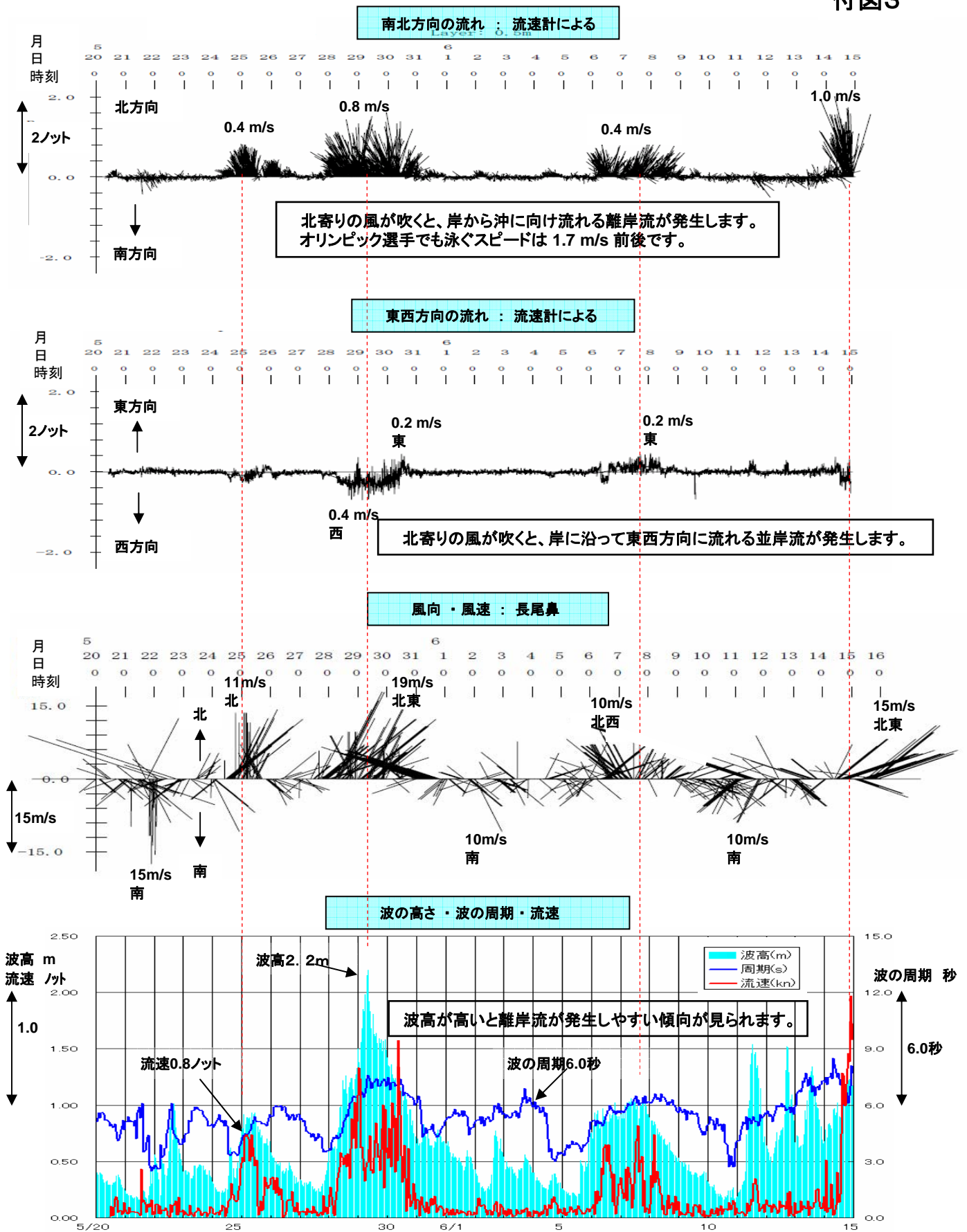
ダミー人形：重さ約30kgのダミー人形を流して漂流状況を調べます。

鳥取砂丘海水浴場で発生する離岸流

付図2



付図3



* 波の高さと周期は国土交通省港湾局のデータを使用。